

何か、予約の患者と思っただらしい。

「あのお、岩井さんのお宅ですか。」
と僕が馬鹿な質問すると、看護婦さんから、
「はい、岩井外科ですけどお。」と言われた。

お互い顔と顔をくつつける様に、
僕も、看護婦さんも、首をかしげた。

僕は完全に白痴と間違えられた。

けたくそ悪くて、場所違いに感じ、再び、そこを出る。

近くの、交番で聞いたたら、やっぱりそこでいいらしい。

「祇園の岩井外科病院」だ。

ここまで、言ってくれば、わかるのに。

どうにか見つけて、病院の裏から、
暗い細い通路を通して、自宅に入った。
前田やほかの仲間はもう来ていた。

食費の予算、滞在日程、交通手段の話、
それに何を食べるか、米はどうするか、
など、相談し、そこで、皆で町に出た。

ぶらぶら歩き、あちこち、岩井の言うまま、
ついて行って、食料を買った。